

丘の大地

JAびえい・広報誌

第1092号 平成27年1月1日号 毎月1日発行
JAびえい・くみあいだより 丘の大地
昭和45年3月5日（第3種郵便物認可）



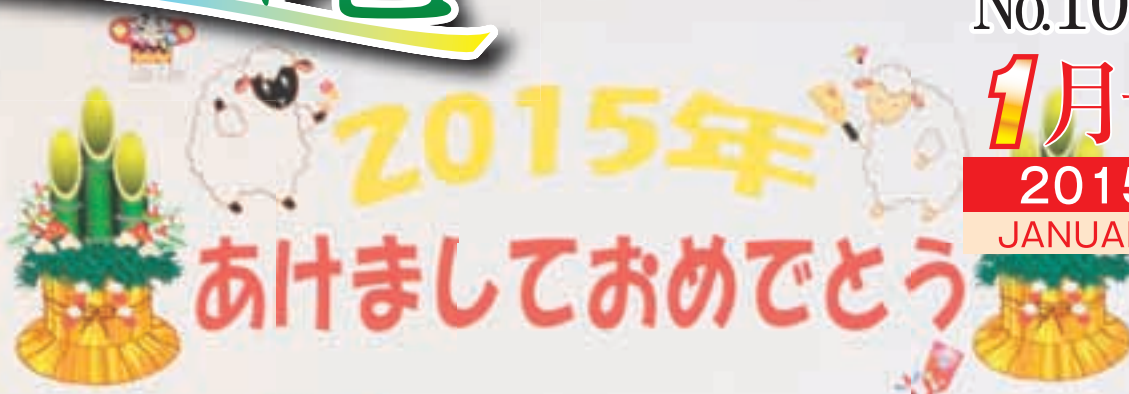
No.1092

1月号

2015

JANUARY

新
年
特
集
号



が ん ば れ '15



年の初めに

元気招福!

～ 美田へき地保育所のみなさん ～

年頭の
ごあいさつ

組合員生産所得の確保を大前提に 自己改革と総合機能の発揮を両輪で



代表理事専務
熊谷 留夫



代表理事組合長
大西 昭男

組合員並びにJA関係組織の皆様方には、ご健勝で新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、日々の営農と併せ、地域農業の振興、地域社会の発展に向けて、多大なご尽力をされておりますことに、あらためて敬意を表します。

さて、平成26年は比較的穏やかな幕開けとなり、2月に開催された冬季五輪ソチ大会では、日本代表選手団の活躍によるメダルの獲得で国内が歓喜に沸きました。

景気面では、4月に17年ぶりとなる消費税増税が行われ、増税前の駆け込み需要により、景気動向指数が上向いたものの、増税後はその反動で個人消費の低迷が長期化するなどの現象が起きました。一方、日本の65歳以上の人口が総人口の25%を上回り、少子高齢化が進んでおり、慢性的な労働者不足は今後、各業界において広がるものと思われまます。

さらに、国内総生産(GDP)は2四半期連続のマイナス成長となりました。平成27年10月に予定されていた10%への消費税増税は先送りとなり、12月には衆議院解散総選挙が行われるなど、「景況感」アベノミクスに注目が集まりました。

農政環境では、TPP交渉が依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められており、予断を許さな

い情勢にあります。

農畜産物の関税撤廃のみならず、ルール改定や規制撤廃を通じ、国民生活に大きな影響を及ぼしかねない危険な交渉であるとの認識に立ち、あらためて、国会決議の遵守を強く求めるとともに、国民理解の醸成に向けた活動を展開していかなければなりません。

また、JA改革プランにつきましては、こうした状況下で、JAグループ北海道は、その時々々の国の農業政策の実践を経て、これまでの事業を再評価した上で、あらためて組合員の多様な意見を把握するべく、組織討議を実施しております。今般、「JAグループ北海道改革プラン・実行計画指針」として取りまとめ、今後、内容を踏まえ、各系統段階で具体的な事業展開を図ることとしております。

JA中央会については、「経営相談・監査機能・代表機能・総合調整機能」農業JAに関する発信機能「グループ内の人づくり機能」「グループ内の総合的なサポート機能」の4つを強化するとしています。「組合員の所得向上を通じた持続可能な本道農業の実現」と「農村地域の活性化を通じた豊かな地域社会の実現」に向け、あらためてJAグループが総力を結集し、国民への理解と共感を得ながら、改革プランに基づく事業展開を積極的に推進していくことが重要と考えております。

気象につきましては、8月の気温は例年より低めであったものの、全国各地を未曾有とも言われるような気象災害が発生した年でもありました。広島市を襲った土砂災害、長野・岐阜県境の御嶽山が戦後最悪となる噴火災害等により、多くの尊い人命と国民の財産が奪われました。

6月1日、京都では観測史上最速で猛暑日を記録したほか、同年7月26日には7月の気温としては観測史上最高の38.3℃を記録しています。

このような気象災害は日本だけでなく、インド、フィリピンなどの海外でも豪雨・洪水による被害がみられました。

美瑛町の気象につきましては、春先の融雪が遅れたものの、その後、気温・日照時間が平年より高く好天にも恵まれたことから、春作業は順調に進みました。

6月、7月も降雨が少なく、気温・日照時間もともに平年より高めで推移しました。しかし、7月下旬から8月にかけては降雨が多く、9月中旬は降水量が平年より200%多いという内容となりました。

総じて、昨年は融雪の遅れから、時きつけ等への作業の遅れ、一部降雨、干ばつなど、不順な天候に悩まされ、懸念材料が多かった一年となりました。

作目別に見ますと、水稲では豊凶の目安となる作況指数は、全国101、北海道



代表理事組合長 大西 昭男

代表理事専務 熊谷 留夫

常務理事
(学識経験者) 北野 和男

理事
(総務委員長・農家経済対策特別委員)
浦島 規生

理事
(業務委員長・農家経済対策特別委員)
稲川 昇

理事
(農家経済対策特別委員長・業務委員)
神成 博美

理事
(総務副委員長・農家経済対策特別委員)
草野 恒之

理事
(業務副委員長・農家経済対策特別委員)
堀内 壮

理事
(農家経済対策特別副委員長・総務委員)
藤田 元弘

理事(総務委員) 村上 聡和

理事(総務委員) 米田 浩幸

理事(業務委員) 真田 佳則

理事(業務委員) 江花 秀一

理事(学識経験者／信用担当)
加藤 護

代表監事 山本 英之

常勤監事(員外監事) 橋爪 正富

監事 太田 満

監事 小口 利雄

監事 柏倉 秀伸

外職員一同



107、上川108、美瑛105。高品質米率も52.7%となりました。

しかし、豊作基調となったものの、全道的に青未熟米が多くみられ、本町においても等級付けに苦慮し、一般米全量1等確保に向け、色彩選別機による再調整を行った経過にあります。生産者個々の減耗数量と経費負担が例年以上に大きいことから、色選再調整経費の一部を、JAと町が助成支援対策を講じております。

小麦については、受入れ、調製機能が向上した穀類乾燥調製貯蔵施設の活用により、所得確保に貢献できたものと思います。

「ゆめちから」の振興と小麦の付加価値づくりを目的とした施設『美瑛小麦工房』が2年目に入り、食パンとラスクが町内外を問わず好評を得ております。

甜菜については、基準糖度を上回る17.4%、10^アあたりの収量についても6.8ト^トという良好な内容でありました。

青果関係では、振興作物のトマトが4年

連続で10億円を超え、生産者努力が着実な成果となっております。今年3月には、新たな選果施設が完成する予定となっております、さらなる増反振興に向けて、ビニールハウスや加温機、育苗施設等の拡充を検討しております。また、加工玉ねぎについても、トマト同様、振興作物として検討しております。

「共生」の理念、協同組織へ向けられる期待は大きく、その役割発揮と地域貢献に向け、決意を新たにしているところです。

平成25年から本格的に進めている輸出事業につきましては、台湾・香港・シンガポールといった海外富裕層へのニーズと可能性を模索しながら、引き続き、商談会等への出展を通じて進めております。

「共生」の理念、協同組織へ向けられる期待は大きく、その役割発揮と地域貢献に向け、決意を新たにしているところです。

いまだ課題が多い農業環境下ではありますが、自主・自立・相互扶助精神に基づく

「共生」の理念、協同組織へ向けられる期待は大きく、その役割発揮と地域貢献に向け、決意を新たにしているところです。



とまと生産者が集まり、平成25年度の事業報告や、高品質とまとの販売体制づくりを進める事業計画などが確認されました。

1月 とまと生産部会定期総会

美瑛小麦工房では、“あぐりっこ”が考案したオリジナルコラボパンも期間限定で販売され、人気を集めました。



1月 HBC「あぐり王国北海道」にて美瑛小麦工房特集が放送



バークや堆肥などを使用して“土づくり”を行う北瑛バーク堆肥生産組合の30周年記念式典が行われました。式典では第4代～6代の生産組合長に感謝状が贈呈されました。

2月 北瑛バーク堆肥生産組合30周年創立記念式典

丘の大地 JA TOPICS

‘14 美瑛アグリ JA攻撃なぜ…？

「一人の百歩より百人の一步」。協同組合運動の基本的な考え方を表した含蓄のある「ことば」です。当JAも経済・信用・共済事業や営農指導を通じ一貫して営農と経済の拠り所としてのJA事業を進めて参りました。組織の主役である正組合員のみなさんに向けては、総合事業の展開によって前述の営農と生活を支えています。准組合員のみなさんへは、必要とする生活サービスの提供、事業利用を通じたJA事業参加の推進など、多様な役割を担って参りました。

また、JAグループでは「主食のコメを中心とする食糧は自分の国で生産し、自給力を高める事」とした国会決議のもと、TPPの交渉参加反対を総意で取り組んで参りました。

これと同じ時期に、規制改革ワーキンググループは農協改革を求め、最近では“農業つぶし”に等しい改革論議がなされています。農協改革の問題は中央会制度に焦点が絞られているように見られますが、求められている自己改革や農協法の改正は「組合員みなさんのために」という視点をしっかり捉えて対応するものです。

2014年を振り返ると、水稻では、収穫前までは順調な生育を見せたものの、思わぬ青死米の発生、過剰米によるコメの低価格が生産者経済を直撃しました。畑作においても低収・低価格推移は農業経営に暗い影を落とすものとなりました。内外ともに困難が山積みしているものの、本町は優秀な農業者が多数おり「創意・工夫により明るい道が拓けるもの」と確信して、この1年を振り返ってみたいと思います。

2014年を 振り返って

1月

- 青年部富良野沿線ブロック冬季研修会【15日】
- フレッシュミセス会役員研修会【15日】
- とまと生産部会定期総会【20日】
- 女性部研修会【22日】
- フレッシュミセス会研修会【23日】
- 女性部役員研修【27日・28日】
- 北瑛バーク堆肥生産組合定期総会【28日】
- 年金友の会 湯治の旅【28日・29日】
- 営農研修会【30日】

2月

- 北瑛バーク堆肥生産組合創立30周年記念式典【4日】
- フレッシュミセス会定期総会【6日】
- 女性部定期総会【7日】
- 青年部定期総会【10日】
- 白茅スバガス生産部会定期総会【12日】
- 養豚生産部会定期総会【13日】
- メロン生産部会定期総会【13日】
- 稲作生産部会定期総会【14日】
- 種子馬鈴薯生産組合定期総会【17日】
- 麦作生産部会定期総会【18日】
- 馬鈴薯生産部会定期総会【19日】
- 実践農業講座・報徳社総会【20日】
- 豆作生産部会定期総会【20日】
- 美瑛雪上絵フェスティバル【22日】
- ニンジン生産部会定期総会【24日】
- 大根生産部会定期総会【28日】



組合員の皆さんとJA職員が集まり、営農や販売体制についてなど、活発な意見交換が行われました。

3月 第59回地区懇談会



ノンフィクション作家の河添恵子さんから「TPPで日本の農業はどう変わるのか？」をテーマにご講話いただきました。本誌でもシリーズで特集し、たくさんの反響がありました。

2月 報徳社実践農業講座

2014年を振り返って



食育事業である「あぐりスクールinびえい」で、町内の小学校4校77名の生徒が、田植えを体験しました。

5月 あぐりスクールinびえい 小学生 田植え体験



総代219名が出席し、8議案1報告が承認されました。また、舟山青年部長から「TPP等国際貿易交渉から北海道農業を守り抜く」決議が提案されました。

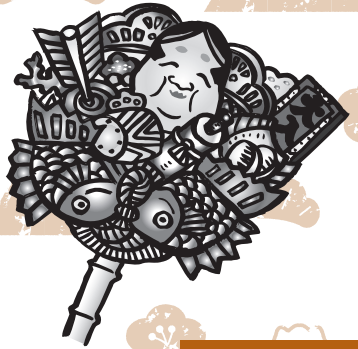
4月 第63回通常総代会

- 3月**
 - 長葱生産部会定期総会【4日】
 - 第59回地区懇談会【6・7日】
 - 百合根生産部会定期総会【10日】
 - 酪農振興部会定期総会【11日】
 - 酪農婦人部定期総会【13日】
 - 種子馬鈴薯生産組合道外視察研修【27・29日】
- 4月**
 - 新規採用者辞令交付【1日】
 - 第63回 通常総代会【4日】
 - 女性部役員会【4日】
 - 年金友の会定期総会【9日】
 - 豆採種生産部会定期総会【11日】
 - 酪農ヘルパー利用組合定期総会【30日】
 - 乳牛検定組合定期総会【30日】
- 5月**
 - 新農業人激励会【30日】
 - とまと生産部会全体会議【9日】
 - あぐりスクールinびえい小学生田植え体験【23日】
- 6月**
 - 畑作3部会現地研修会【2・3日】
 - 北西地区運動会【7日】
 - ピエール・エルメ氏が美瑛産小麦を視察【7日】
 - 林（前）農水大臣との要請懇談【8日】
 - 美瑛ヘルシーマラソン2014【8日】
 - 獣魂祭【12日】
 - とまと生産部会消流懇談会【20日】
 - 馬鈴薯生産部会生産者フィロディ【25日】
 - 麦作生産部会町外研修会【26・27日】



北海道のB級グルメが美瑛町に集結し、No.1を競いました。「美瑛焼きカレーうどん」は総合3位に入賞しました。

7月 新・ご当地グルメグランプリが美瑛で開催！



上川管内13JAの組合長や関係者らが集まり「林芳正農林水産大臣との農政懇談会」が行われました。当JAからも規制改革会議に対する要請書を提出しました。

6月 林農水大臣がJAびえいを訪問



報徳社、青年部、女性部、フレッシュミセス会160名余りが参加しました。じゃんけん大会など、笑顔があふれる交流会になりました。

7月 第10回組織活動交流会

町内外からたくさんの方が集まりました。農畜産物の販売や、歌謡ショーなど、大いに盛り上がった1日でした。



8月 丘のまちフェスティバル2014
どかんと農業まつり

全道の百合根生産者や、道外の卸売関係者らが参加しました。消費地の情勢や、美瑛町内の圃場視察などを行いました。



8月 百合根振興会
全道生産者大会開催

- **7月**
 - 女性部町外研修会【3日】
 - 新ご当地グルメグランプリ北海道2014【5日】
 - 青年部視察研修会【10・11日】
 - 豆採取生産部会町外視察研修会【11日】
 - 稲作生産部会町外視察研修会【11日】
 - 豆作生産部会町外視察研修会【14・15日】
 - 第10回組織活動交流会【16日】
 - 種子馬鈴薯生産組合町外視察研修会【16・17日】
 - 酪農青年女性酪農発表大会【17・18日】
 - フレッシュミセス会研修会【23日】
 - 美瑛神社祭【25・26日】
- **8月**
 - 大豆・小豆第一期圃場審査【4日】
 - 上川女性協女性部研修会【8日】
 - 札幌市「美しい村マルシェ」で美瑛産野菜を販売【16・24日】
 - 北海道連合百合根振興会全道生産者大会・消流懇談会【21日】
 - 大手亡・金時・中長第二期圃場審査【22日】
 - サホロ小豆第一期圃場審査【22日】
 - どかんと農業祭り【23・24日】
 - 藤野馬鈴薯貯蔵施設竣工【28日】
- **9月**
 - 水稲現地研修会【3日】
 - JAグループ北海道改革プラン組織討議【5日】
 - あぐりスクールinびえい 小学生稲刈り体験【11日】



美瑛小麦工場の
オープン1周年と
併せて、秋の収穫
感謝祭が行われ
ました。

10月 美瑛選果
秋の収穫感謝祭



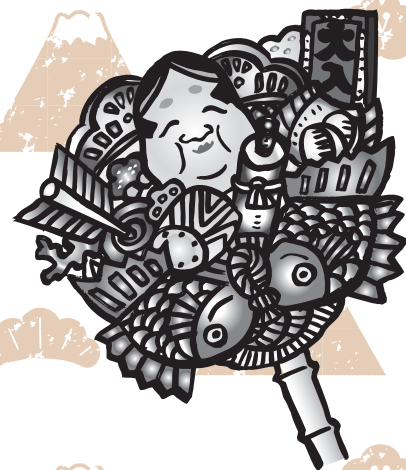
政府が、農協組織
に自己改革を求め
る「農協改革」対
して、青年部・女性
部・フレッシュミセ
スの役員、地区ブ
ロック長らが集ま
り、組織討議を行
いました。

9月 JAグループ北海道
改革プラン組織討議



組合員のみなさ
んのご自宅へ職
員が訪問し、農協
への思いを聞くな
ど、交流を深めま
した。

11月 組合員宅一日一斉皆訪問



12月 第41回集落代表者研修会

各集落会長をは
じめ、JAの役員・管理
職約100名が出席
しました。講演には
フリーアナウンサー
の野宮範子氏を招
き「美しい村・美しい
言葉～届けるとい
うこと」と題して行
われました。



美瑛町内の学校
給食向けに、コメ
50俵と、びえいゆ
めちから食パン
900食分を贈呈し
ました。

11月 学校給食へコメ・パンを贈呈

- 丘のまちセンチュリーライド【20日】
- 新農業人研修【30日】
- 10月
 - 美瑛選果 秋の収穫感謝祭【11～13日】
 - 美瑛小麦工房1周年【25日】
- 11月
 - 収穫祭&かぼちゃコンテスト【1日】
 - 年金友の会観楓会【4～7日】
 - 中学生・アスペルジューでテーブルマナー講習会【10～12日】
 - 青年部・フレッシュミセス会合同ミニバレー大会【17日】
 - 組合員宅一日一斉皆訪問【19日】
 - 学校給食へコメ・パン贈呈【21日】
 - 麦作生産部会道外視察研修【25～28日】
 - 農業担い手海外視察研修【25～29日】
 - 豆作生産部会道外視察研修【26～28日】
- 12月
 - 馬鈴薯生産部会道外視察研修会【3～5日】
 - 全道JA青年部大会【4・5日】
 - 集落代表者研修会【5日】
 - 上川青協・女性協 餅つき大会【20日】
 - 美瑛町へ鏡餅贈呈【26日】
 - 仕事納め【30日】



一年間ご苦勞さまでした 集落代表者に謝意



「美しい村美しい言葉～届けるとのこと」について話す
フリーアナウンサーの野宮氏

平成26年度の集落代表の皆さんが一堂に会した集落代表者研修会が、12月5日にJA3階大ホールで行われました。

冒頭、大西代表理事組合長はJA事業にご協力を頂いた代表者に謝意を述べ、この一年の営農の振り返りや区域内農業生産の見込みを報告しました。実績見込みでは計画比99%までの積み上げ状況を述べました。研修講演では、HBCの「レポート6」やHTBの「イチオシ」のニュースキャスターを務めた野宮範子氏が講演。情報や報道番組、選挙特番や討論番組での豊富なキャスター経験が報告されました。

報徳社で 全社員交流研修会

「ものごとと大地を大切にしよう」をスローガンに実践活動を進める美瑛町報徳社（浦島規生社長）の社員交流研修会が11月28日、JA大ホールで行われました。

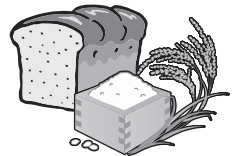
当日は、講師として北海道報徳社の柴田常務理事を招き「農協改革と報徳」についての講演がされました。同氏はまず、地球温暖化等の環境問題や日本の財政問題と経常収支、農協改革問題と農政課題等農業をめぐる三大危機を挙げました。

特に農協改革では、単位農協の役割として農産物の有利販売や、生産資材等の生産者調達ではJAの努力が一層求められる時代に入ること等が述べられました。



農協改革を通じこれから直面する課題等を述べる
北海道報徳社柴田常務

町内8校にプレゼント 健やかに育つてと願い込め



丘のまちで生産されたコメとパンを町内小中学校給食にプレゼント。

当JAでは今年も、明日を担う小学生の逞しい成長を願い、コメとパンを寄贈しました。

このセレモニーは11月21日に行われ、大西代表理事組合長、長谷川稲作生産部会長、櫻井麦作生産部会長が町役場を訪れ、浜田町長、千葉教育長にコメパンを手交しました。

JAが給食用に提供したのはコメ3ト、食パン900人分。町内児童生徒のみなさんに美瑛町農産物の美味しさを体感してもらおうと行っているもの

で、今年で数えて6回目。食育事業の推進も併せて行っているものです。

提供したコメは美瑛産「ななつぼし」で、食パンは美瑛産小麦の「ゆめちから」を使用したものです。

ゆめちからは製パン適性の優れた超強力系の小麦品種で、もちもちとした食感が人気を集め、町内外のリピーターから支持されているものです。ゆめちからで作られる「ラスク」も人気を集めています。

浜田町長は「皆さんに生産者の思いも含めて美味しく食べてもらいたい。美瑛町ではブランド力の強化にも力を

入れており、消費者にもどんどん食して頂きたい」と美瑛産農畜産物の思いを述べていました。



生産者の思いを込め給食用にと贈られたコメとパン

美瑛町の農村景観 人気高く

美瑛町は平成26年度の上半期の観光客の入込数の集計結果を発表しました。

それによると、上半期は前年対比12.6%増の127万8千人余りで、過去30年で最高値。青い池が拍車をかけ、アジアからの観光客が大幅に増加しており、シーズンのピーク時には数キロに及ぶ周辺の渋滞ができるなど、人気の高さを示しています。入込観光客の内訳は道外客60万3千9百人、道内67万5千人とされています。イベントによる入込みも17.7%と大きな伸びを示しています。外国人宿泊数は台湾からが最も多く、続いて香港・中国と続き全体の80%を示しています。順当に行くと下半期のトータルで160万人も現実的としています。

焦点 FOCUS

空しいJ A攻撃 協同運動を否定すべきではない

大義のない解散選挙だとする大勢の意見の中で、政権与党は「信任を得た」とばかりに新年を迎えた。

「農業・医療・エネルギーといった分野で大胆な規制改革を断行し成長戦略を力強く進める」とした3本目の矢の成長戦略は、農業分野の規制改革を唱え経済界から「農協改革で岩盤規制に穴を開ける姿勢を強行に進めるべきである」等、勝ち馬に乗った様にJ A攻撃を続ける論調が特に目立つ。

選挙での大勝を背景に「農協改革」の規定路線を強行に推し進める可能性がでてくるのではないだろうか。

規制改革会議ワーキンググループ(WG)の意見から始まった農協改革騒動だが、J A中央会の廃止論議にせよ、准組合員の利用制限にしても、J Aグループへの「攻撃」ではあっても、けっして誰かのためになるような「改革」ではない。J A組織に関わりのある者にとって空しい限りである。

また、この攻撃が中央会やJ Aグループだけへのものと考えるのは、浅薄だと懸念するものであるが、それは協同組合の否定、つまり力の弱いものになるのではないだろうか。力の強い大企業を中心とする組織が、より自由に活動できる社会をつくろうとする大きな流れになる事を憂慮するものである。

目先の損得に振り回され、協同の本質を失ってしまっては、取り返しのつかない事になってしまう。農協改革に対する反論には「大義」がある。

J Aグループは昨年、農協批判にこたえて平成26年11月にJ Aグループの自己改革について発表し、自主・自立の協同組合として「農業と地域のために全力を尽くすこと」を宣言した。組合員経済と地域農業づくりの拠点的作用を果たすことやJ Aの強みと必要性を示すことも「J A攻撃への反論」である。

願うは鎮静

気象庁は12月16日、十勝岳(2077m)の火山活動がやや高まったとして、5段階ある噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)へと引き上げたことを発表しました。

この事を受け、防災行政無線では近況が報じられま

十勝岳 微妙な動き

したが、「噴火による危険はありません」と強調しており、引き続き沈静を願うものです。

十勝岳の噴火は平成16年2月のごく小規模な水蒸気噴火を最後に、現在まで発生しておりません。気象庁では「本格的なマグマ噴火につながることはない」としています。



写真は平成元年の小噴火の際の十勝岳

十勝岳の噴火レベル

予報 警報	対象 範囲	レベル (色)	火山活動の状況	住所等の行動及び 登山者・入山者等への対応
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者等の避難等が必要。
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活(今後の火山活動の推移に注意)。状況に応じて災害時要援護者等の避難準備等。登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。
		2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活(今後の火山活動の推移に注意)。火口周辺への立入規制等。
噴火予報	火口内等	1 (平常)	火山活動は静穏、火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内及び近傍への立入規制等。

最近の火山活動経過

活動 ステージ	年月日	現象
熱活動	2006～	62-2火口浅部直下膨張を示す地殻変動を継続
	2008.7	火山性微動
	2010.6	大正火口東壁に新噴気孔形成を確認、噴気量増加
	2011.8	火山性微動
	2012.6.30	大正火口で明るく見える現象(一時的な高温ガス噴出)
熱活動・地震活動活性化	2012.7	大正火口東壁に新噴気孔形成、噴気量増量
	2012	吹上温泉のCl/SO4比が上昇
	2012.12.2	山麓有感2回(白金温泉・十勝岳温泉で震度1程度)
	2013.6.9	大正火口で明るく見える現象(一時的な高温ガス噴出)
マグマ噴火	2013.7.3	大正火口で明るく見える現象(一時的な高温ガス噴出)
	—	—

※(上)(左)資料提供は気象庁

平成26年営農を振り返って

作業期・生育期節は大雪地区

1 気象経過（美瑛町アメダス）

5月から9月までの積算平均気温は2,59.9℃（平年2,45.4℃）、日照時間は935hr（平年838hr）、降水量は547mm（平年488mm）でした。

2 育苗・移植（水稻）

4月の降雪（4月4日（35mm））と上・中旬の低温により、融雪期は平年より8日遅い4月18日となりました。

耕起盛期は、融雪後の最高気温、日照時間が平年より確保されたことから、平年より4日早い4月30日となりました。

出芽迄日数は、平年並み（ただし日照が確保された4月19日以降の播種では高温多照により4日で出芽）、出芽の揃いは、並〜良い傾向でした。

移植時の苗質は、4月5半旬・6半旬の高温多照条件、5月1、3半旬の高温条件により草丈は長く、葉数は進み、やや老化苗傾向がみられました。

移植作業は、5月16〜18日が最高気温10℃を下回る低温に見舞われましたが、19日以降は回復しました。移植始は5月18日で平年並、移植期は平年より1日早い5月21日、移植終は平年並の5月26日となりました。

3 本田初期

移植後の高温多照（特に5月28日〜6月7日は最高気温が25℃超で日照も10時間確保）により活着は良好で、活着期は3日早い

5月25日、分げつ始は4日早い6月1日となりました。この間、異常な水温の上昇によりワキの発生による根傷みも懸念されました。

6月15日現在の遅速は5日の早。初期生育は良好で、茎数は平年対比150%となりました。

4 幼穂形成期以降の生育

幼穂形成期は6日早い6月20日となりました。前歴期間となる6月下旬、冷害危険期となる7月上旬は気温が平年を上回り、不稔歩合は平年並となりました。

7月1日現在の茎数は平年対比110%となりました。

5 登熟から成熟期の生育

出穂期は7日早い7月17日となりました。出穂揃い迄の日数は7日と平年並ですが、町内的には「早期異常出穂」（ななつぼし中心）や「過剰分げつ」（ゆめぴりか等）により、出穂・開花は長引く傾向でした。

登熟期間は、8月2〜5半旬の日照不足、8月6半旬の低温により、遅速は1日遅れとなり、成熟期は6日早い9月5日となりました。収穫始は平年より5日早い、9月8日となりましたが、町内的には、青未熟粒の混入により収穫開始を見合わせる圃場が多く、また適期を迎えての降雨もあり、収穫期は9月21日（平年1日遅）、収穫終は9月28日（平年3日遅）となりました。

6 作況圃の概要

1㎡当り穂数は平年の103%、一穂粒数は平年の95%となり、1㎡当り総粒数は98%と平年並となりました。

稔実歩合は平年の103%で、1㎡当り稔実粒数は平年の101%となりました。千粒重は平年並ですが、粒厚は厚くなる傾向で精玄米重は平年より3%多くなりました。

7 品質

「青未熟粒」の混入や、「腹白粒」を主原因とし、一部に「胴割粒」「青死米」「サビ」等が混入し、整粒歩合は一等限度となりました。

「腹白粒」は「低温・低日射条件」で多くなるとされますので、8月2〜5半旬の気象条件と一致します。また、「分げつ過剰（粒数過剰）」もそれを助長しますので、昨年の生育と一致します。

「青未熟粒」は開花の遅れた穂が日照不足によって「じっくりと太った」ために網の上に発生したと考えられます。

低タンパク米（6.8%以下）の出荷比率は、「ななつぼし」が55%、「ゆめぴりか」は57%（7.4%以下を含めると98%）、「ほしのゆめ」は17%（平成26年12月9日現在）となり、低タンパク米の出荷率は高くなりました。「収量が多かったこと」がタンパクを低下させたと考えられます。

8 病害虫・生理障害の発生状況

(1) 育苗期間の生理障害

「低温浸種による出芽不揃い」のほか、4月12日、14日は多照条件下での「ヤケ」のトラブルも一部で発生しました。

非常に稀なケースですが、中苗マットでのマグネシウム欠乏（1〜2葉の先端褐変）も

5月8日前後を中心に発生しました。この頃は2.5葉期頃の胚乳消尽期とも重なり、気温のアップダウンによる一時的な水分ストレスが要因と考えられます。

(2) 苗立枯病（ムレ苗）

5月2半旬の低温、また、5月15〜18日の低温により一部で発生がみられました。過かん水に注意すると共に、育苗後半に外気に慣らす場合は徐々に行いましょう。

(3) 葉鞘褐変病 褐変穂

7月末には、最低気温がやや平年を下回りました。また風雨の影響で、出穂の遅れた一部圃場では「葉鞘褐変病」が発生しました（水田内のヒエ等が保菌源ともなります）。同様の要因で、一部の「ゆめぴりか」では「褐変穂」が散見されました。

(4) いもち病

町内では、葉いもち病は8月6日に確認されました。防除により「初発で止まった」状態でした。初発は7月末と推定されます。

一部の圃場では、穂いもち病が発生しました（初発は8月8日）。下葉に発生した葉いもち病から始まり、7月末からの連続降雨によって穂いもち病に移行したと思われます。

育苗箱施用剤や水面施用剤の使用により、全体としてみると発生圃場はごく限られました。

常発圃場は、次年度も水面施用剤などの使用を継続しましょう。基幹防除前（出穂期前）まで発生を防ぐことができると、その後の発生はほぼありません。

(5) イネドロオイムシ

高温の影響で、成虫の初発は5月末と早く、6月中旬には盛んに飛び込みがみられました。無防除圃場においては6月5半旬頃から、アドマイヤー等の育苗箱施用剤を使用している圃場においては、7月1半旬から食害が目立ち、追加防除が実施されるなど、一部

地区では被害の多い年となりました。

すでにアドマイヤーの効果低下している地区においては、系統の異なる薬剤として、「バス顆粒水和剤（新剤）」が有効です。ただし、ウンカ類に効果がないため、縞葉枯病の発生が懸念される場合は、アドマイヤー顆粒水和剤の混用を検討します。

防除薬剤の育苗箱施用は登録量を下回る薬量を施用すると、当年の効果不足につながり、薬剤感受性の低下を招きます。規定の薬量施用を遵守してください。

(6) イネミズウムシ

アドマイヤー等の育苗箱施用剤を使用していない圃場において、畦際中心に6月1半旬から寄生がみられました。株あたり6〜7頭の寄生がみられ、要防除水準（株当たり0・5頭）を超え、多発生となりました。

(7) アカヒゲホソミドリカスミカメ

大雪地区においても、「1週間程度早い」発生でしたが、出穂期の基幹防除が実施され、発生量は少ない傾向でした。8月3半旬までの巡回調査においても、田及び畦畔ともすくい取り頭数は少ない状況でした。

(8) 紋枯病又は擬似紋枯病

概ねどの圃場でも、発生はみられるようです（株元にみられ、発生株率は1％程度）。一部に発生の多い圃場もありますが、今のところ、広域で防除対策が必要なレベルではないと思われます。

夏場の高温で増える傾向にあります。菌核が圃場に残るので、菌核の溜まりやすい畦側を中心に、圃場をよく確認し今後の動向に注意しましょう。

9 次年度に向けて

・ 今冬の間に振り返りを行い、経費を見直すところ、費やすところのメリハリをつ

けましょう。

・ 施肥は、土壌診断等を活用し、低コストな銘柄を選択しましょう。

・ 病害虫の予察を実施し、発生状況に応じた防除を検討しましょう。

・ 大型機械の更新では、共同利用等も検討しましょう。

・ 融雪材（ケイ酸資材等）を散布し、水田の乾燥を早めましょう。

・ 冷害危険期に深水管理を行えるように、畦畔の補修をおこないましょう。

・ 種子伝染性病害いもち病・馬鹿苗病・褐条病・苗立枯細菌病防止のため、100％温湯消毒済みの更新種子を使用しましょう。

・ 出芽率の向上のために、浸種は11〜12℃・7日程度としましょう。温度計を設置し、必ず水温を確認しましょう。特に、初日の水温が重要です。必ず適温の水を準備し、浸種を開始します（5℃の水にいきなり漬けない）。

・ 溝切りや心土破碎を実施し、乾田化に努めましょう。

表1 大雪地区作況圃収量構成要素及び決定要素

成苗ななつぼし	H26	平年	対比(%)
1㎡当り穂数(本)	620	601	103
一穂粒数(粒)	53.7	56.3	95
1㎡当り総粒数(粒)	33,323	33,883	98
稔実歩合(%)	95.7	92.8	103
1㎡当り稔実粒数(粒)	31,887	31,448	101
千粒重(g)	23.0	22.9	100
精玄米重(kg/10a) (篩い目1.9mm)	663	642	103

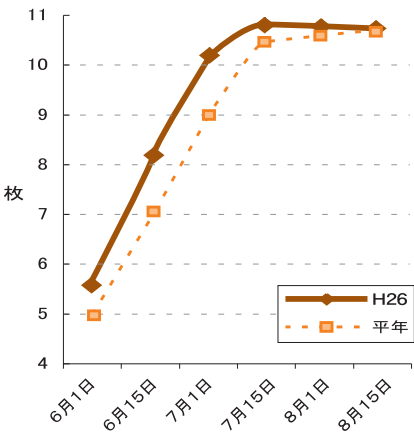


図1 葉数の推移

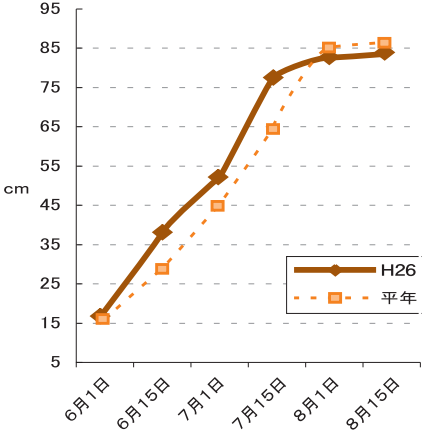


図2 草丈の推移

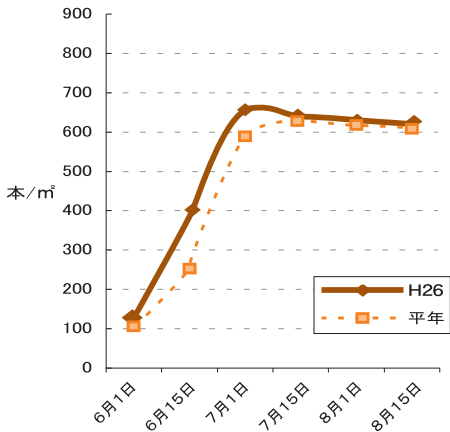


図3 1㎡当り茎数の推移



畑 作

昨年は、融雪期が4月19日と平年よりも8日遅れました。その後、気温も高く、降水量が少なかったため、土壌の碎土性も良好な条件下で播種・移植・植付作業が順調に進みました。土壌水分が不足したため出芽のばらつきや生育の停滞等がみられた作物もありましたが、7月中旬まで少雨で経過したため病害の発生が少なく、総じて平年作以上の収量を確保しました。1年を振り返り次年度に向けた取組みを冬期間中に検討をお願いします。

秋まき小麦

越冬前の生育

9月中旬に一時的な降雨もあり、播種期は2日ほど遅れました。その後、気温が高めに推移したため、越冬前の草丈・葉数は平年並、茎数については平年より多くなりました。

越冬後の生育

融雪期の遅れから起生期は4月23日と平年より7日遅れました。4月下旬から5月上旬が高温に経過したため生育は回復し、幼穂形成期は5月11日と2日遅れとなりました。5月下旬から6月上旬の高温により出穂期は3日早まりました。7月も高温と成熟前の暖かい風もあり、成熟期は6日早い7月16日となりました。

表1 秋まき小麦の生育期節

項目	生育期節			
	起生期	幼穂形成期	出穂期	成熟期
H26	4月23日	5月11日	6月 6日	7月16日
平年	4月16日	5月 9日	6月 9日	7月22日
遅速	遅7日	遅2日	早3日	早6日

一昨年に多発した赤さび病の発生は少なく、病害虫による影響は少なくなりました。

● 作柄に影響を及ぼした要因

4月中下旬の追肥は土壌水分が少なく

春まき小麦

「きたほなみ」は5月上旬まで葉色が淡く窒素の肥効が遅れ、草丈・稈長が短く、穂数が平年より少なくなりました。乳熟期から成熟期の気温の比較差（最高気温－最低気温）が大きいと千粒重が重くなり、収量は高くなる傾向があります。昨年は、少雨のため細粒が懸念されましたが、夜温が高くならなかったため、気温の日較差が大きくなり、1穂粒数・千粒重が確保でき収量は平年を上回りました。また、止葉期追肥以降少雨だったこともあり、肥効が後半にずれ込み子実蛋白が高まりました。

表2 秋まき小麦の生育期節

項目	穂数 (本/㎡)	1穂粒数 (粒)	子実重 (kg/10a)	千粒重 (g)
H26	516	36	730	39.3
平年	666	28	720	38.6
平年比(%)	77	129	101	102

※1穂粒数・千粒重は2.3mm篩い以上

融雪が遅れたため、播種期は4月

26日と平年より5日遅れました。播種後、5月上旬は高温で経過したため、出芽期は2日の遅れとなりました。圃場内の土壌水分が不足した部分では出芽のばらつきが見られました。5月下旬から6月にかけて高温で推移したため、生育は早まり出穂期は6月16日と4日早くなりました。出穂まで少雨の影響もあり草丈が短く

表3 春まき小麦の生育期節・作業期節

項目	生育期節				
	播種期	出芽期	止葉期	出穂期	成熟期
H26	4月26日	5月 6日	6月 9日	6月16日	7月30日
平年	4月21日	5月 4日	6月13日	6月20日	8月 4日
遅速	遅5日	遅2日	早4日	早4日	早5日

推移していましたが6月中旬の曇天時以降、急激に草丈が伸び軟弱気味の生育となりました。7月の気温が高かったため成熟期は5日早まりました。収量に影響を及ぼす病害虫の被害はありませんでした。

7月は地域によって強い降雨があり軟弱な生育をした圃場では、倒伏が多くなりました。

8月4日以降長雨が続く予報もあったため、収穫可能な圃場を選びながら平年より4日早く収穫始となりました。

その後、断続的な降雨がありましたが、雨間をぬって作業が進められ、収穫終は8月9日と平年より4日早くなりました。

● 作柄に影響を及ぼした要因

出芽期から出穂期まで、平年より生育日数は短くなりましたが、積算気温は高くなり、1穂粒数が平年より多くなりました。

出穂期から成熟期までの積算気温が高めに推移しましたが、登熟期間が乾燥で経過したため、千粒重が平年をやや下回りました。1穂粒数が多かったため平年を上回る収量となりました。

表5 春まき小麦の生育期節と気温の推移

生育期間	生育日数		積算気温(最高気温－最低気温)	
	出芽期 ～ 出穂期	出穂期 ～ 成熟期	出芽期 ～ 出穂期	出穂期 ～ 成熟期
H26	43	42	601	536
平年	49	43	580	456
平年比(%)	88	98	104	118

次年度も早期播種は重要ですが、融雪

小豆

促進により、早く圃場に入れるような条件づくりが重要です。

春先からの作業が順調に進み、小豆の播種期は3日早くなりました。

播種後、高温で経過したため、出芽期は2日早まりました。播種前から少雨傾向で土壌水分が少なかったこともあり出芽のばらつきが見られました。圃場内の出芽が揃うまで、やや期間がかかりましたが、6月から7月にかけて、高温が続いたため、開花期は3日早まり、草丈、葉数ともに、平年を上回り、成熟期も2日早まりました。収穫については、登熟のばらつきから葉落ちの早い部分を別刈りするなど、品質向上に向けた取組みも見られました。

● 病害虫発生状況

一時的に過湿になった圃場では茎疫病の発生が見られましたが、菌核病、灰色かび病は少発生でした。鱗翅目害虫(ヨトウムシ、ツメクサガ)の発生は、前年より少なくなりましたが、アブラムシは平年より多くなりました。

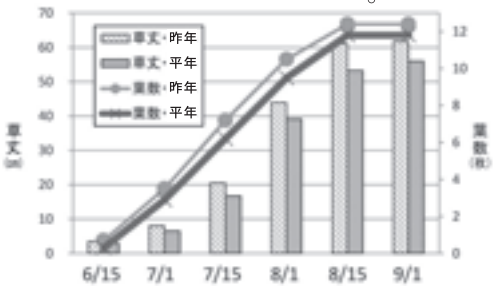


図1 小豆の草丈、葉数の推移

● 作柄に影響を及ぼした要因

開花から25日後までに、稔実莢数が決定されますが、日照時間が平年より長く、日較差の積算、気温が高くなったため、着莢数は452個/m²と平年（444個/m²）より若干多くなりました。一莢内粒数は平年並でしたが、開花から成熟期までの日較差積算が、平年より高かったため子実肥大期における養分転流が多くなったことが百粒重をやや重くした要因と思われる。莢数・百粒重の向上により収量も平年より多くなりました。

莢の成熟のバラツキにより、色むらが発生しました。小豆は湿害に弱く、初期生育の悪い作物です。排水対策を行い、初期生育の促進に努めて下さい。

馬鈴しょ

融雪期が遅れましたが、その後の条件が良好で植付期は平年より5日早くになりました。

植付後、5月中旬の低温と少雨はありましたが、萌芽期は3日早くになりました。萌芽後、6月上旬の高温で、着蕾期は平年より5日早くになりました。6月中旬が曇天傾向であったため一時的に茎長が

表6 小豆の播種期と生育期節

項目	農作業期		生育期節		
	播種期	出芽期	開花期	成熟期	
H26	5月21日	6月 5日	7月20日	9月 6日	
平年	5月24日	6月 7日	7月23日	9月 8日	
遅速	早3日	早2日	早3日	早2日	

表7 小豆の収量構成要素

項目	1㎡当り莢数	一莢内粒数	百粒重(g)	子実重
H26	452	6.0	12.6	342
平年	444	6.0	12.0	320
平年比(%)	102	100	105	107

伸びました。7月下旬から8月にかけて気温が高かったことから生育は進み、茎葉黄変期は、平年より5日早まりました。8月は長雨もあり、収穫始は平年より3日遅れましたが、その後、順調に作業が進み収穫期は平年より3日早くまりました。

男爵に、被害を及ぼす病害虫の発生は少ない状況でした。

● 作柄に影響を及ぼした要因

アメダス地点以外の地域では、雨の降り方に偏りが見られました。特に着蕾期以降、塊茎の肥大期に少雨傾向となった地域では、いも数の減少が大きく、調査圃場では上いも数（20g以上の個数）は、6・7個/株（平年比70%）収量低下となった圃場も見られました。上いも1個重は、95g（平年比97%）と平年より若干小さくなりました。

てん菜

播種作業はやや遅れて、7日遅れで終

表8 馬鈴しょの作業と生育期節

項目	植付期	生育期節				収穫期
		萌芽期	着蕾期	開花期	茎葉黄変期	
H26	5月 8日	5月30日	6月12日	6月26日	8月 4日	9月15日
平年	5月13日	6月 2日	6月17日	6月29日	8月 9日	9月18日
遅速	早5日	早3日	早5日	早3日	早5日	早3日

表9 馬鈴しょのいも数と1個重

項目	株当上いも数	上いも1個重
H26	6.7	95
平年	9.6	98
平年比(%)	70	97

了しました。

昨年は、融雪期の遅れはありましたが、その後、降水量も少なく、圃場の良好な条件で作業が進められ、移植期は平年より6日早い5月2日となりました。

移植後、少雨傾向もあり例年よりも補植は多めでしたが、5月中旬に45mm程度の降雨とその後の気温も高めに推移したため、生育も勢いづきました。その後も、少雨傾向ではありましたが草丈・葉数・根周とも平年を上回る生育となりました。

10月上旬の雨により、収穫始は平年より3日遅れましたが、概ね順調に進み、平年並の10月23日に収穫期となりました。

● 病害虫発生状況

ヨトウガの発生は平年よりやや早い状況でしたが、防除対応も適期に行われ被害は平年より少なくなりました。7月中旬までの少雨もあり、褐斑病、根腐病、葉腐病など病害の発生は、平年より少なくなりました。

● 作柄に影響を及ぼした要因

昨年は平年より移植が早く進められたこと、移植時の土壌条件が良好（碎土性が良かった）だったため、その後の活着とともに生育の促進につながったものと思われます。6月下旬から、7月上旬にかけて雨のない時期が続きましたが、7月上旬までに生育量が確保できた

表10 てん菜の作業期節

	播種期	移植期	収穫期
H26	3月17日	5月 2日	10月23日
平年	3月15日	5月 8日	10月23日
遅速	遅2日	早6日	±0

ため、根部の生育は停滞することなく、肥大しました。

春から初夏（移植期）6月上旬の気温が高いと根重が重くなります。昨年の12月8日現在の状況では、根重が平年比115%となっています。

夏季から秋季（7月上旬）10月上旬の気温が低いと根中糖分が、高くなります。9月中旬以降、気温が低くなり、日照時間もある程度確保されたこと、さらに褐斑病の影響も無かったことから糖分が高く（平年比107%）なりました。

ここ数年低糖分に推移してきましたが糖分・根重とも高くなりました。次年度も高収量高糖分に向けて、春先の圃場の乾燥化を進めるため融雪促進を図り良い圃場条件の中で移植作業ができるように準備を進めましょう

表11 てん菜の葉数・根周の推移

項目	根重(kg/10a)	根中糖分(%)	糖量(kg/10a)
H26	7,016	17.4	1,221
平年	6,119	16.24	994
対比(%)	115	107	123

※H26実績は日甜調べ(H26.12.8現在)

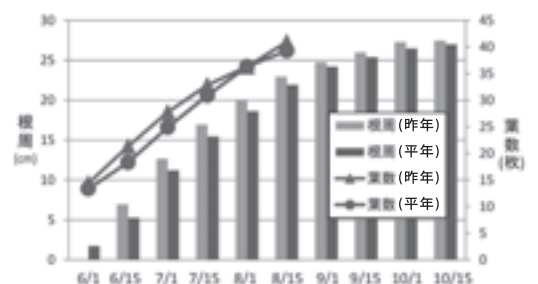


図2 てん菜の葉数・根周の推移

野菜

平成26年は融雪遅れはありましたが、農耕期間のうち前半は、高温多雨少雨、後半は長雨による多湿条件等、偏りのある気象となり、農作物の管理に苦労した一年となりました。

果菜類

1 トマト

① 促成・半促成作型

促成・半促成作型では、4月下旬からの好天多照により着果・肥大は順調で共選開始は例年より10日早い受入となりました。しかし、気温が高く、果実の肥大が急速に進み、少雨の影響を受け、土壌水分の不足もあり尻腐れ果が3～4段目の低段位に見られました。

② 抑制作型

5月21日以降の定植となる抑制作型は、土壌水分が少ない状況でのスタートとなりました。5月下旬～6月上旬の高温少雨の影響もあり、促成・半促成作型同様に1～2段目の低段位に尻腐れ果が多くなりました。

③ 病害虫

病害は、5月中旬の曇天と降雨が多くなった7月下旬以降、ハウス内の多湿条件により灰色かび病やうどんこ病の発生が多くなりました。8月には、摘葉の際に発生する茎腐細菌病もみられました。また、土壌病害萎凋病他）の発生も散見されました。害虫は、食葉性鱗翅目（ヨトウムシなど）、アザミウマが発生しました。

2 スイートコーン

他の作物の播種・移植作業が順調であったこともあり、スイートコーンの播種

作業は例年よりも早く（5月中旬）行われました。出芽は土壌水分の多少によっても出芽がばらつき、その後の生育についても同一圃場内での生育差が多く、圃場で見られました。しかし、その後、気温が高くなり、生育は早まり収穫は8月上旬となりましたが、生育のバラツキから収穫には苦労が見られました。

3 さやいんげん

春先から順調に作業が進んでいたこともあり、播種時期は例年よりも早めの5月20日頃から始まりました。しかし、播種時の土壌水分が不足していたこともあり、出芽のばらつきが見られました。その後、天候が回復し、気温も高温に経過したため、収穫時期は平年よりやや早い7月20日頃から始まりましたが、出芽のばらつきから収穫の見極めが難しい年となりました。

莢が長めで莢数も多かったことから収量が多く、メイガや灰色かび病の発生が少ない傾向でした。

茎葉菜類

1 ゆりね

4月下旬以降の好天により生育は順調に経過し、少雨傾向ではありましたが着蕾期は早まりました。しかし、地域により短時間に強い降雨がみられ表土が流されるなど、玉肥大に影響を及ぼした圃場も

みられましたが、相対的に前年より玉肥大は良い年となりました。

目立った病害虫の発生はありませんでしたが、少雨による葉先枯れが一部で見られました。また、鱗茎さび症は若干見られましたが、あんな症の発生は見られませんでした。

2 たまねぎ

融雪期が遅れたものの直播の播種は4月下旬に、移植は5月上旬の圃場条件が良好な中で作業が進められました。

直播は比較的順調に出芽期を迎えました。生育は少雨または低温時期に、一時的な停滞もありましたが、概ね順調に生育しました。倒伏期は移植で7月下旬～8月上旬、直播で8月中旬となり、14日後を目途に肥大状況を確認しながらの根切り作業となりました。

収穫は、枯葉を待つて9月下旬頃の作業となりました。

病害虫は、少雨傾向のためスリップスの吸汁がみられ、りん片腐敗病の発生も散見されました。

洋菜類

1 グリーンアスパラガス

融雪後、4～5月の好天により収穫は5月中旬の平年並からやや早く開始されました。5月中旬の低温によりアントシアンがみられ、さらに風の影響による曲がりも多くなりました。5月下旬以降の高温少雨で収穫量が低下しましたが、収穫期間は6月下旬までと長くなり、前年より収穫量が多くなりました。

収穫打ち切り後、養成期間は生育が良好で、7月下旬～8月の長雨の影響もみられず順調でした。

病害虫は、斑点病の蔓延は少ない状況でしたがヨトウガの被害はやや多い状況でした。

越冬前の生育調査では、圃場間に差はありますがGI値、BRIIX値とも良く養分蓄積は良好でした。

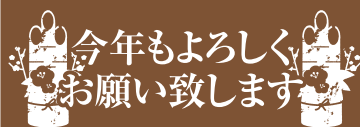
2 ブロッコリー

融雪以降、少雨傾向もあり定植時期は例年より早く進みました。5月中旬以降雪や低温を受けた圃場では不整形花蕾や生育の遅れなど、品質に影響がみられました。

8月に収穫となった作型では長雨の影響もあり軟腐病や花蕾腐敗病などが多くみられました。しかし、9月収穫の作型は、やや温度が低く玉肥大が緩慢な状況もありましたが、歩留まりも高く品質も良好でした。

害虫は前年からの多発傾向にあったヨトウムシ・アオムシの発生量が多くなりました。





支所長

佐藤 千代志

地域第1係長

外山 直樹

地域第2係長

伊與田 まや

指導主任

田中 米子

専門普及指導員

吉田 純子

専門普及指導員

岡元 克憲

専門普及指導員

新井 菊江

専門普及指導員

工藤 淑郎

調査員

遠藤 成典

普及職員

中野 寛之



年頭のごあいさつ

美瑛型農業を 成長させる年に

上川農業改良普及センター大雪支所

支所長 佐藤 千代志



輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は「エルニーニョ現象により冷夏か?」という発表を受け農業関係者一同心配しましたが、5月下旬から7月下旬にかけて高温で経過し、この好天(好転)により、農作物は全般に7日から10日生育が早まり、畑作物と野菜類については平年と比べて並からやや上回る収量を得ることができました。

しかし水稲は当初の収量予想に反し、収穫間近の不順な天候が登熟に影響し、青未熟米により製品収量は平年並みを確保するのが精一杯でした。

米価は大きく下落し、稲作農家の経営が厳しさを増すなか、TPPは未だ交渉継続中で、全農業者が将来に強い不安を感じていることと思います。

さらに日本全国で「農業の担い手不足」が叫ばれ、近年は集落単位の消滅にとどまらず町村単位の消滅が危惧されるなど、農村の生活環境は悪化の一途で、農家の不安は増すばかりです。

そうした中にある美瑛町では、稲作経営と畑作経営にトマトが組み込まれた【美瑛

型農業】が展開されています。町外の若者がこの美瑛型農業に魅力を感じ、「美瑛町で農業をやってみよう」と研修を受けて新規就農し、しっかりと地域に根付いています。

一方、町内の農業青年で構成する『大雪さんろくクラブ』の活動成果もめざましく、こうした若い力が発揮できる環境づくりと成果の情報発信が地域を活性化させる重要な鍵と考えます。

本年、トマト共同選果場が稼働します。最新鋭の装置による厳格な選果により美瑛産トマトの評価と知名度が高まり、美瑛型農業の成長に一役を担うと確信します。

気象変動が大きく、農畜産物の安定生産は難しさを増しておりますが、従前から行われる「土づくり・人づくり」を基本に今後も農家にとって身近な普及センターであることを意識しながら活動展開して参ります。

今年が皆さんにとって良き一年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつと致します。



年頭のぞあらし



青年部
ふなやま ともあき
部長 舟山 智章

特色ある 青年部活動を総意で

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては、健やかなる新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、常日頃より青年部活動に多大なるご理解とご協力を頂いておりますことを、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、順調な融雪と好天により、近年では稀にみる爽やかな春を迎えることができました。その後も大きな天候の崩れもなく、作業面ではシーズンを通してあまりストレスを感じずに農作業に打ち込める年であったと存じます。

しかしながら、外に目を向けますと、9月には道内で初めてとなる「大雨特別警報」が出され、道央地区などが数十年に一度という豪雨に見舞われました。浸水などにより、甚大な被害を被った田畑の様子を報道で目にしたときは、同じ農業者として、とても痛々しい気分になったこと

を思い出します。全国的に見ますと、これもほんの一例に過ぎないかも知れませんが、新年の天候は穏やかに経過しますようにと祈るばかりです。

さて、2月に開会予定の総会をもつて平成26年度も完了を迎える青年部活動ですが、ここまでを振り返りますと、実に精力的に活動できたのではないかと感じております。

春の研修会では、カルビーポテトの事業概要と大手企業から見た現在の市況を学びました。さらに、大雪さんろく倶楽部によるゆめちからの栽培技術の研究発表、保健センターによる食生活の見直し講座と、3本立ての充実した内容で知識を深めました。

夏の視察研修では、人気の高い国際農業機械展を見学し、最新の機械技術に胸を躍らせました。札幌市丘珠にあるアド・ワン・ファームでは、徹底した温度・施肥管理の水耕栽培を見学し、我々とは違った観点からの農業ビジネスの可能性を感じました。

11月に開催したフレッシュユミセス会との合同運動会は、初めてミニバレー大会として開催しました。爽やかな笑顔が会場に溢れ、白熱した試合も行われ、大いに盛り上がりました。

町内小学生との食育事業では、さまざまな方面の方々からご協力を頂き、田植えと稲刈り・調理実習を行いました。これが児童達の食と農業への関心の高まりに繋がってくれたら嬉しい限りです。我々もあらためて食を支える産業の大切さに

ついて考える良い機会となりました。

また、JAふらの青年部との合同研修会や、枝幸かに祭りでの枝幸漁協青年部との交流も継続して行い、年々深まる絆を感じ、お互い良い刺激を受けることができました。

さらに今年度は、地元開催となった新！ご当地グルメグランプリで農産物販売のブースを出展しました。秋には収穫祭と銘打って農産物販売と試食の提供を行う初めてのイベントを開催しました。初めてのことで戸惑う場面もありましたが、直接消費者と触れ合う良い機会を設けることができました。収穫祭に合わせて実施した巨大かぼちゃコンテストでは、たくさんの部員参加のもと、初めて巨大かぼちゃ作りに挑戦し、それぞれ試行錯誤した話しが聞かれ、良い話題作りができたのではないのでしょうか。

全体を通しますと、懇親会等も含めて事業を重ねるたびに、部員相互の交流が深まったことが、何よりも今後に繋がる一番の成果であったと思います。

任期は残りわずかではございますが、本当にたくさんの方々のご協力を頂いて、青年部活動が成り立っているということを感じました。周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今後も「青年部だからこそできる、時代に合った精力的な活動と地域への貢献」を心掛け、より一層の盛り上がりを目指していきたいところでございます。

最後になりましたが、今後とも青年部に対しまして変わらぬご支援のほどをお願い申し上げます。また、皆様のご健勝とご多幸をささやかながらご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

組織活動フォトピック



「ラザニール」でのピザ、シチュー作り。美瑛の味を大いに堪能しました。



美瑛町内の小学生を対象に、田植えを指導。悪戦苦闘の田植えとなりました。



青年部・フレッシュユミセス会合同開催の「ミニバレー大会」は白熱！



食育事業と運動し消費者とのふれあいを深めました。写真は重量当てコンテストから。



女性部 部長 喜多 昌代

事業参加で

交流の輪を広げて

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと推察し、年頭のごあいさつを申し上げます。

また、役員経験のない不慣れな

私に対し、日頃よりご支援、ご協力いただいております役員、部員、事務局の方々に感謝を申し上げます。

昨年は、大雨、低温、日照不足、さらに追い打ちをかける米価の暴落、消費税増税が行われ、農作業を行うのはもちろん、家計を預かる私たちにとっても、大変厳しい一年となりました。

そんな中でも、昨年は女性部組織活動を通じてさまざまな体験をさせて頂きました。

7月の町外研修では、劇団四季札幌公演ミュージカル「オペラ座の怪人」観劇を実施し、50名余りの部員の皆様に参加して頂きました。艶やかな衣装と美しい歌声に日常を忘れるひと時でした。

10月に東川町で開催された上川管内女性部Bブロック研修会では、講演と健康体操を行い、他JA女性部との交流もあり、有意義な研修会となりました。

11月に行われたJA北海道女性大会・家の光大会では、苦勞をしながらも挑戦し続ける農業女性の体験談、81歳の尼僧による講演会から、前向きに生きるヒントを頂きました。また、参加者の半数近くが各JAの正組合員と知り、行動力のある女性が多いことに驚きました。こうした行事に出席する中で、他JA女性部との交流の機会は非常に刺激的で重要なものだと感じさせられました。

農業まつりや食育事業、海外農業研修など、青年部と係わる活動も多数あり、生き

生きと頼もしい青年の姿に、美瑛町の農業が今後ますます発展するだろうと感じました。

これから行われる冬期研修会では、ハン ドマッサージ講習を予定しています。日頃酷使している手を労わり、心も体もリフレッシュしながら、和気あいあいと楽しく情報交換をしていただいて、交流の輪を広げてほしいと思います。

今後の女性部活動に対しましても、変わらぬ皆様のご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後に、残された任期を、役員一同、精一杯勤めて参りたいと思っております。

今年一年が、皆様にとって良い年でありますように心からご祈念申し上げます。



フレッシュ ミセス会 会長 いしかわ めぐみ 石川 恵

組織のさらなる

活性化で飛躍の年へ

新年あけましておめでとござい ます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年、私は会長という大役を任

され不安でいっぱいでしたが、これまでの事業を滞りなく実施できましたのも、役員や会員の皆様のご協力の賜と、心から感謝を申し上げます。

昨年の活動を振り返りますと、一般からも参加者を募集して開催された腸セラピー研修会を始めとして、多くの活動を行って参りました。

夏の研修では、芦別市にてさくらんぼ狩りを行いました。日常を離れて楽しいひと時を過ごすことができました。農業まつりや青年部主催の収穫祭&かぼちゃコンテストは、販売活動を通して消費者と係わる貴重な機会となりました。町内の小学生を対象とした食育事業では、子どもたちが包丁を握る手のおぼつかなさによる不安を感じながらも、自分

たちで作ったピザとシチューを「おいしい」と言いながら笑顔で食べている様子を見て、この子たちが大人になっても、安心・安全な野菜を食べられるよう、美瑛町の農業は残していかなければならない」と強く感じました。

今後の活動としては、冬の研修会として陶芸体験と昼食会を予定しています。他の支部の会員さんとも交流できる数少ない機会ですので、とても楽しみにしております。

こうして昨年の活動を振り返りますと、「初めての試み」がとても多い一年だったと感じます。研修会への参加者募集も、かぼちゃコンテストでも、青年部・フレッシュミセス会の活動を広く知ってもらい、なおかつ地域の発展に繋げられるような活動だったのではないかと考えております。

今後のフレッシュミセス会の活動につきましても、今までと変わらず皆様からの温かいご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

終わりになりましたがいまだに、残りわずかな任期を役員一同、皆様のお力をお借りしつつ務めさせて頂きたいと考えております。

本年が皆様にとって輝かしい一年になりますように心よりご祈念申し上げます。



明日を担う



辻 だいすけ
辻 大輔 さん
(JA青年部／北台・旭ブロック)

もうひとつのブランド「安全安心」

信念を持って生産者が一致協力すること、さまざまな困難を切り拓く手立てにしたいと思っています。



お天気カレンダー

『風を揚げよう』

一般財団法人日本気象協会●檜山靖洋

「お正月には風(たこ)揚げて、こまを回して遊びましょう」

お正月の遊びといえば、風揚げにこま回し、羽根突きなどがあります。昔ながらの遊びも子どもたちにしっかり伝えていきたいですね。さて、風揚げを上手にするためには、風に向かって風が斜めになるように糸を調節します。そうすれば風を浮かす力がうまく働き、大空へ舞い上がります。程よく風が吹く日を選んで、風を空高く揚げて楽しみましょう。

ところで、お正月にはおせち料理やお餅など、おいしい料理もたくさんあります。そんな中、この時期の旬のイダコを使った料理はいかがでしょうか。サトイモとイダコの煮物、洋食風に食べたいならイダコのトマトソース煮もいいですね。イダコの天ぷらもおいしいそうです。風を揚げてあそんだ後は、タコをおいしくいただきましょう。



ママ撮って!

美瑛町五稜第一

杉山 直人さん
みどりさん
のお子さん



えい た
瑛太くん(4歳)

ママからのメッセージ

「坊主頭がとても似合う」父ちゃん大好きな瑛太です。
美田保育所のお遊戯会では緊張しながらも、大きな声で歌い、一生懸命に踊る姿に“父ちゃんも母ちゃんも”とても感動したよ! 沢山泣いて笑って、元気に伸び伸びと大きくなってね♡
少しでも野菜を食べられるように「がんばろう!」ね…。

今日のレシピ

・餅チーズグラタン・

作り方

- (1) 切り餅は、半分に切る。
- (2) 鶏もも肉は、一口大に切る。
- (3) ブロッコリーは小房に分け、さっとゆでる。
タマネギ、ニンニクはみじん切りにする。
- (4) 鍋にオリーブ油を熱し、(3)のタマネギ、
ニンニクを弱火で4〜5分炒める。
- (5) (4)に(2)を入れる。肉の色が変わったらAを
加え、トマトをつぶしながら約10分煮る。
- (6) グラタン皿に餅、ブロッコリーを入れ、(5)を
掛け、チーズを載せる。
- (7) (6)をオーブントースターで10〜15分焼く。



トマトソースのグラタン。マカロニの代わりに餅を使います。
とろ〜り溶けた餅とチーズが、トマトソースと相性抜群。



材 料 (4人分)

切り餅……………4個 ピザ用チーズ……………100g
鶏もも肉……………200g

A
ブロッコリー……………1/2株(100g) 固形スープのもと……………1/2個
タマネギ……………500ml ローリエ……………1枚
ニンニク……………1片(10g) 塩……………小さじ1/2
オリーブ油……………大さじ2 こしょう……………少々
トマト水煮缶詰……………1缶(400g)

タイ
Kingdom of Thailand

農業研修

水稲は2年で 5回も収穫

平成26年度「農業担い手海外視察研修」に参加させて頂きました。

バンコクは乾季で、現地の人には過ごしやすい気候だそうです。美瑛との気温差は35度から40度。飛行機から降りた途端に空気が違っており、一気に南国にきた実感がわきました。

微笑みの国タイでは、「ワイ」という合掌が日本のお辞儀にあたる動作で、どこへ行っても合掌と挨拶の言葉をかけてくれました。市内は車やバイク、トゥクトゥクや荷台に人を乗せた車などで渋滞しており、人の往来も多く、店や屋台も活気にあふれていました。南国特有の鮮やかな花が咲いて、美しかったです。市内にはチャオプラヤ川が流れており、沢山の船が交通手段として使われている、異国情緒あふれる光景を見ることができました。

バンコク郊外の車窓からは、様々な生育段階の水田が見えました。2年間で5回程収穫するそうです。私たちが見学で訪れた農場では、以前は水田を作っていたそうで

すが、今は野菜やバナナを栽培しているとのことでした。ご一家で私たちに手作りのおやつ、空芯菜の炒め物、フルーツなどを用意してもらっていただきました。言葉はわかりませんが、笑顔でたくさん説明をしてくれて、歓迎の気持ちが伝わり、とても嬉しく温かい気持ちになりました。

土地が低く雨季には水害になりやすいため、住居は高床になっていたり、畑の脇には水路があったりして、タイ独特の様式などから、その土地なりの苦労と工夫がある事が分かりました。

私も、今いる場所で頑張ろうと改めて思いました。ありがとうございました。

報告／女性部 山田仁美（横牛第二）

低コスト栽培 洪水が土地を肥やす

11月25日から29日まで海外農業視察研修でタイに行ってきました。女性部からは3名、役場農林課から1名、JA職員3名と青年部から3名の10名での研修となりました。

空港で添乗員さんと合流して、タイへの6時間ほどの空の旅。時差は2時間あり、少しだけ時間がかかります。飛行機から降り

るとまず暑い。もうすぐ12月とは思えないほどの暑さで北海道の夏より暑いのです。タイの気候としては熱帯で、モンスーンの影響が大きく、スコールなどが特徴のようで、日本のような四季の変化はあまり無く、5月から10月頃までが雨季、私たちが行った時は乾季で比較的涼しいらしいのですが暑かったです。現地では日本人現地ガイドさんとも合流、夕食とホテルまでの移動で初日は無事終了しました。

2日目は、世界遺産アユタヤ遺跡などを観光しました。日中の気温は37度まで上がり、日陰にいないと辛かったです。また、アユタヤまでの道中では水田地帯が広がり、今まさに代掻きをしている田んぼもあれば、収穫間近の稲などもあり、私たちから見ると異様な光景でした。しかし、それは洪水などの被害も多いため、温暖な気候を利用し、常に収穫できるように作っているとの事でした。また、肥料は使わず、洪水で運ばれてきた泥などが土地を肥やすという考え方なので、日本の農業との違いを感じました。低コストで常に米を供給出来る事が、タイを米輸出世界一位にしているのだと思います。最近では、日本食ブームもあり、コシヒカリのようなジャポニカ米の生産も北部で盛んになってきているようです。

オーガニック野菜農家に視察に行きました。タイでは中規模農家に当たるとのことです。主にクレソン、ケール、チンゲン菜、白菜そして空芯菜を作付けしているとの事で、オーガニックというだけあって防除などはせず「虫や鳥たちが食べ終わって残り物を頂いている」という考え方で、私がしている農業との違いがありました。圃場には周りに水が張ってあり、そこから水を与えていて、見たことのない作り方でした。また、日本のようなトラクターは無く、テラーで耕起し、手で種を播くのが一般的な作り方で、実際に私たちも体験させていただきました。私たちが播いた空芯菜は、無事に出ていけば2週間後には収穫するそうです。また、視察先の農家の方々に、自家製のおやつや空芯菜の炒め物などを馳走になり、とても親切に対応して頂きました。タイの人たちの人柄の良さに触れた一日でした。

最終日は、タイ農業協同組合省という政府組織で管理されているオートコー市場へ、流通の視察に行きました。市場ではマングスチンやドラゴンフルーツ、ドリアンなど、あまり北海道と縁のない果物がずらりと並んでいました。タイの飲食店の方や、地域住民まで利用しているようで、品質も上等なものを取り扱っているとの事でした。

今回の海外視察研修に参加して、気候や条件は違うものの、日本の農業のレベルの高さ、安心安全に対する意識の高さを再確認しました。実際に、目で見て感じたことは、農業だけではなく、見分を広げるという意味でもとても素晴らしい経験になりました。貴重な体験をありがとうございました。

報告／青年部 野村浩太郎（原野2線）



播種後2週間で収穫の「空芯菜」

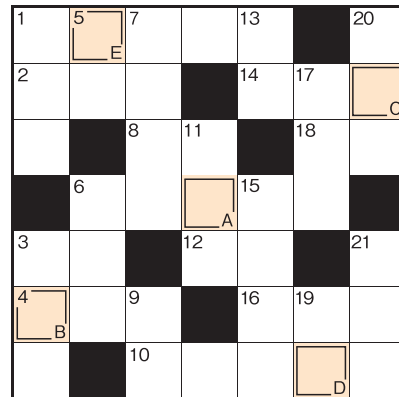


現地の方が手早く空芯菜を料理

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Eの順に並べ
てできる言葉は何でしょうか？



正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分（全農）をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

●ハガキ

うら

- ①クイズの答え
- ②今月号の良かった内容
- ③取り上げて欲しい内容
- ④その他ご意見・ご感想など
- ⑤住所氏名年齢電話番号

おもて

〒071-0298
上川郡美瑛町
中町2丁目6-32
J A びえい「丘の大地」
クイズ係

- F A X 0166-92-2977
- Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

ヨコのカギ

- ①早春に顔を出すフキの花茎
- ②車などで人や物を運ぶこと
- ③ピスタチオを食べるとさむきま

- ④駅伝の選手がつなぐもの
- ⑥東南アジアの国 首都はフンペン
- ⑧地球表面のおよそ3割を占め

- ⑩ピンポンともいうスポーツ
- ⑫花を回ってチョウが吸う物
- ⑭子芋がたくさん付くことから、サ

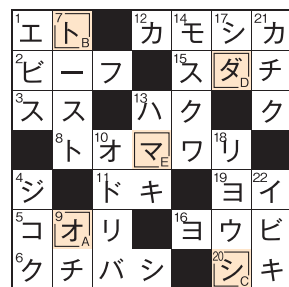
- ⑮トイモは——繁栄の縁起物です
- ⑯旧国名の一つ
- ⑰——佐渡が現在の新潟県です

- ①最低気温が0度未満の日
- ③武士の命ともいわれた刃物
- ⑤応用に移る前にしっかりと
- ⑥全身真っ黒な鳥
- ⑦中央競馬を監督するのは
- ⑨西を向いたときの右手の方向
- ⑪——水産省
- ⑬ホルスタイン、ジャージーをいえ
- ⑮趣味と——を兼ねた仕事
- ⑰応接室に似合う長いす
- ⑲けがが完全に——した
- ⑳タイヤに穴が開いちゃった
- ㉑大金持ちのこと

タテのカギ

☆先月号のこたえは
『オトシダマ』でした

こたえ・当選者



☆当選者は

笠原 裕介さん
白木 尚美さん
鎌田 順子さん
鈴木 隆之さん
尾形 康子さん

以上5名です。
おめでとうございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

1月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】つまらない意地を張りやすいかも。素直さを心掛ければ、運氣回復へ。リラックスするにはクラシック音楽が◎

【健康運】食べ過ぎに注意。食欲のコントロールを

【幸運を呼ぶ食べ物】京菜

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】保留になっていたことが動き始めるなど、うれしい変化あり。意欲的に動いて。メール交換も良い刺激に

【健康運】ウォーキングや軽い体操が体調に好影響

【幸運を呼ぶ食べ物】シジミ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】いろいろなことに手を出すものの、中途半端になりやすいもよう。一つに集中しましょう。深呼吸で心を鎮めて

【健康運】スポーツを楽しめるけれど、無理は禁物

【幸運を呼ぶ食べ物】伊予カン

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】小さな失敗で後ろ向きになりやすいよう。さっと気持ちを切り替えて。親しい人に話を聞いてもらうのも効果的

【健康運】徐々に上昇の兆し。定期的な運動につき

【幸運を呼ぶ食べ物】ダイコン

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】神経質になりやすい時期。細部を気にし過ぎず、持ち前のおおらかさを忘れずに。植物を身近に置くと開運効果大

【健康運】食事のバランスに気を配れば好転へ

【幸運を呼ぶ食べ物】ナバナ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】レジャー運が活性化。気の合う仲間とにぎやかに過ごして。新年会やレジャーを企画するのもよく、楽しめそう

【健康運】生活リズムを整えることで、上向くはず

【幸運を呼ぶ食べ物】クワイ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】大変なことを安請け合いして、トラブルを招きがち。冷静に判断して。リフレッシュには、趣味に励むとグッド

【健康運】ストレスをためないよう、適度な発散を

【幸運を呼ぶ食べ物】ヤマノイモ

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】性格のプラス部分がアピールされ、人気が急上昇。人脈のネットワークを広げられそう。ネットサーフィンも吉

【健康運】ゆったりと構えれば、安泰に過ごせます

【幸運を呼ぶ食べ物】キンメダイ

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】好きなことに時間を費やすのに最適な期間。すべき作業を終えたら、自分の時間を満喫して。日記を書くのも◎

【健康運】ほんの少しでも筋力アップに努めてみて

【幸運を呼ぶ食べ物】オカラ

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】気力が高まり、充実した月に。一年の目標を立てる好機なので、ぜひプランニングを。新チャレンジもお勧め

【健康運】耳寄りな健康情報をキャッチできる気配

【幸運を呼ぶ食べ物】セリ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】優しい気持ちになり、誰にでも親切にできるはず。周囲に思いやりを示すことで、自然と運を引き寄せそう

【健康運】疲労を感じやすい傾向に。十分な休養を

【幸運を呼ぶ食べ物】のり

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】何かと好奇心を刺激される時期。やりたいたことがあったら、体験教室や説明会に参加して。講演会も要チェック

【健康運】睡眠の質を高める工夫が健康を呼ぶ秘訣(ひけつ)

【幸運を呼ぶ食べ物】ホタテ

地域の 学校紹介



※プライバシーポリシーにより写真の解像度を下げています

美瑛町立美進小学校

校長 石橋祥子

美進小学校は、JR富良野線美瑛駅より北東に約5km、JR富良野線北美瑛乗降所より北東に1.2km、美しい丘の狭間に流れる宇莫別川沿いの水田地帯に位置します。近くには「聖台ダム」「新区画ダム」があり、春から秋にかけて町内外から多くの人々でにぎわいます。

明治32年の入植以来、住民の連帯意識と結束力で幾多の苦勞を乗り越え、洪水・火災などの災害を克服して、校舎建築や教育環境整備等、地域を挙げて学校教育を支えていただけてきました。学校教育はもとより、社会教育の基盤も整備され、公民館分館活動や少年団活動など各種団体の組織化が進み、後継者の育成にも力が注がれているところです。

しかし、減反などによる過疎化が進み、昭和40年代より徐々に在学児童が減少し、平成16年に宇莫別小学校と統合、現在に至ります。本年度の校区戸数は114戸で、多くは農業を営み、全戸にPTA賛助会員としてご協力をいただいています。そのうち6戸より7名の児童が通学しています。美瑛市街地まで車で10分たらず、旭川市までJRで約25分と、便利で安定した生活を送っていると言えます。

児童は明るく素直で、学年を超えた助け合いなどの連帯感も強く、礼儀正しさと粘り強くやりぬく「美進子の良さ」を高学年から低学年へと引き継いでいます。

小規模校ならではの特性を生かし、児童一人ひとりのもつ良さを引き出し、確かな学力

と体力を身に付けさせる授業改善、感性を磨き、練り合いながら、社会性や忍耐力をつけるための特別活動、朝マラソン、太鼓練習等の体力づくりや、ラーニングタイム、朝読書の取り組みを通して、規則正しい生活リズムの確立を図っています。また、美瑛ロータリークラブの協力を得て行っている「サケ卵の受領・飼育・放流活動」、宇莫別環境保全組合とともに取り組む「聖台公園のカタクリ保全活動」、地域の基幹産業である農業を体験的に学ぶ「あぐりスクールinびえい」など、地域の環境、人材を生かした教育活動にも力を入れています。

今後も、地域と共に子どもたちのための教育活動を目指し、努力を続けて参ります。



▲聖台太鼓(下宇莫別神社祭にて)

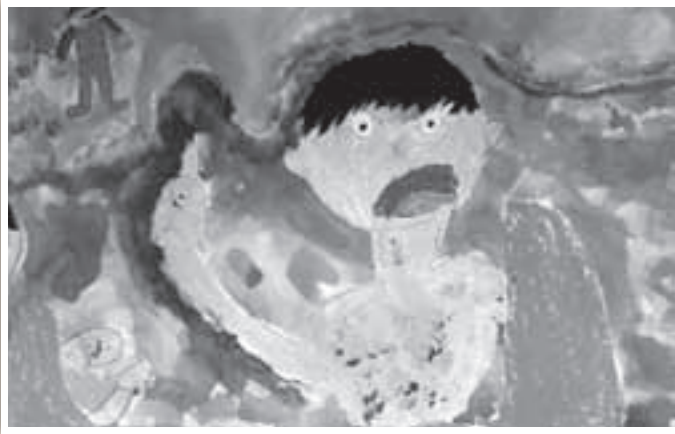


▲さけ稚魚の放流(宇莫別川にて)



▲カタクリ観察会(聖台公園にて)

聖台太鼓は、昭和61年に「地域の文化としての伝統芸能」を造ろうと、当時の職員と児童によって始められました。毎昼休みの練習をはじめ、月1回の少年団活動等を通して先輩の中学生たちとともに練習を続け、各種行事等で発表しています。



2年 入江 悠斗 「海」



1年 岩崎 のん 「プールあそび」



4年 浦 望葵 「あやとり楽しいな」



5年 白田 貴志 「夕暮れの聖台ダム」



5年 久川 創大 「夕暮れの聖台ダム」



6年 浦 丈旺 「ジェンガ」



6年 村中 優 「ジェンガ」

ふーふー発電 de エコ実験

「ふーふー発電」ってどんな実験方法だと思いますか？そうです。息を、ふーふー吹きかけると、風車が回って、見事発電できるというものです。

風車はどんなものでも大丈夫ですが、ここでは本当にエコな風車で実験してみましょう。

風車といえば3枚プロペラのものがよく知られています。もちろんとても効率良く発電できる風車だと思って間違いありません。でも、この風車はプロペラが風を切る音がうるさくて近くの住民が迷惑したり、風車が風にぐいぐい押されて風車の根本が地面を揺らす低周波振動のため近隣の住民が眠れなく被害や、渡り鳥がプロペラに衝突する（バードストライク）など、どこまで自然に優しい風車なのか疑問があります。

ここで紹介するのは、そうした問題が少ないサボニウス型という風車です。サボニウス型風車は、公害の一つとされているビル風を利用でき、都市空間でも発電できます。プロペラ型風車は、正面から風を受けないと回りにくい性質がありますが、サボニウス型風車はどの方向から吹く風でも利用できます。

さあ、そんなサボニウス型風車を作って「ふーふー発電」をしてみましょう。

準備する物

エナメル線	直径0.2～0.35mm程度を1000回巻にします。長さ100m程度です。
ネオジム磁石	強力なら2個、そうでなければ4～6個。100円ショップなどで売られています。
ナット	鉄製ナット2個。磁石の大きさに合わせて用意します。
長い鉄串	長さ30cm程度、直径1mm、断面が円形のもの。サボニウス型風車の回転軸にします。
アルミ板	厚さ0.2mm、20cm×10cm程度を2枚。バケット（風を受ける部分）に用います。
スポンジマット	暑さ1cm、11cm×6cm程度を2枚。上下でバケットを挟みます。
透明プラスチック容器	30cm×20cm程度の靴箱もしくは食品保存容器。100円ショップなどで売られているもので構いません。
LEDランプ	1個。100円ショップなどで売られているもので構いません。
ストロー	1本。
軸受け用プラスチック片	3cm程度を1枚。プラ定規など。

冬休み自由研究 身近な素材で

電気を作ろう

今年の冬休みは電気について勉強しよう。身近な素材を使って電気を起こす実験だ。分からないところはおうちの人に聞きながら挑戦しよう。

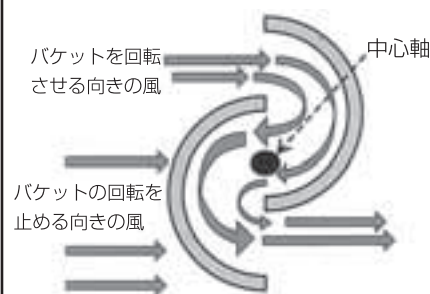
監修：川村康文

完成図



※写真の基盤部品は撮影に使用したLED照明の付属品です。材料として用意する必要はありません。

サボニウス型風車は、抗力型と呼ばれる風車です。バケットの隙間を通る風を有効に利用できるもので、弱い風でも回り始めます。プロペラ型と違って、どの方向から吹く風でも回転を始めます。



作り方

6

コイルのエナメル線を、透明プラスチック容器から外に出すようにして、ふたを閉じます。このとき鉄串のとがった先は、ふたの裏に取り付けた軸受けにのせます。これで発電機の完成です。この仕組みで発電すると「交流」という電気がおきます。

7

アルミ板でバケットを作ります。上から見て半円になるように丸めます（右ページ図参照）。ガラス瓶などを当てるときれいに出来ます。次にバケットを組みます。写真のように回転軸にスポンジマットを先に刺し、この上にアルミ板のバケットを2つ並べてスポンジマットにセロハンテープでとめ、さらに、上からスポンジマットをのせるようにとめてバケットを固定します。



8

コイルのエナメル線とLEDランプをつなぎます。自転車の前照灯でもオーケーです。なければそのまま大玉の白色LED1個をつなぎます。

9

風を当てて回転させてみましょう。文字が読めるぐらいに発電できます。暗い場所でもバケットを回転させてみましょう。

完 成

季節に応じた飾り付けを楽しみましょう。バケットは紙コップでも代用できます。



川村康文 (かわむら やすふみ)

東京理科大学理学部第一部物理学科教授。博士（エネルギー科学、京都大学）。歌う大学教授（環境保護ソング、世界平和を祈る歌など、ホームページで無料配信）。著書に『遊んで学ぼう！家庭でできるかんたん理科実験』（文英堂）、「地球環境が目で見えてわかる科学実験」（築地書館）、「基礎物理学 上・下」（ソフトバンク クリエイティブ）、「わかりやすい理工系の力学」（講談社）、「電気の手づくり実験」（オーム社）他多数。<http://www2.hamajima.co.jp/~elegance/kawamura/>



1

単2形乾電池（材料外）を軸にエナメル線を1000回巻き、幅1.5cm程度のコイルを作ります。両端を15cm程度伸ばしておきます。

2

コイルの中に上下2ヶ所、ストローを取り付けます。後でこのストローに鉄串を刺します。

3

写真のように、鉄串を透明プラスチック容器の底に通してから、コイルのストローに通します。鉄串が滑らかに回転するように注意しましょう。



4

コイルを通した鉄串をサンドイッチするようにネオジム磁石で挟みます。このとき、鉄串の太さと同じ高さのナットを鉄串の両脇に2個入れてネオジム磁石を平行になるように取り付けます。磁石の力で自然に固定されます。



5

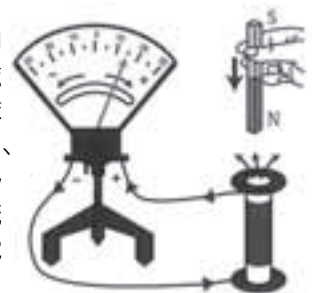
透明プラスチック容器のふたの裏に、プラスチック製の定規などをセロハンテープで取り付け、中央部にきりなどを使って、軸受け用の小さなくぼみを作ります。

電気はなぜ起きるの？

1831年、ファラデーというイギリスの先生が「電磁誘導の法則」を発見しました。コイルの中に磁石を入れると、電気が起こるのです。

コイルに磁石のN極を近づけると、コイルは嫌々をして、コイルの上にN極を作ります。するとそこに電流が流れます。これが電磁誘導です。

コイルの中で磁石が回ると、コイルの中を通る磁力が増えたり減ったりします。目には見えませんが、この変化によってコイルに嫌々をする向きに電流が流れるのです。その電気でLEDが光ります。



パソコン講習会について

場 所:JA2階パソコン研修室 / 講師:青色申告会
種 類:ソリマチ簿記(パソコン)
月 日:1月15日(木)・16日(金)・19日(月)・26日(月)
28日(水)・30日(金)
時 間:①9:00~11:00 / ②13:00~15:00
内 容:ソリマチ簿記の使い方や勘定科目の設定、次年度更新の仕方、ク
ミカンデータの転送の仕方など

持参するもの

自分のパソコンで講習を受けたい方は本体を持参してください

ソリマチ簿記を受講希望の方

伝票入力の練習も行いたい場合は、今年のクミカン報告書と減価償
却資産台帳を持参して下さい。

窓口 営農部 経営相談課 ☎ 68-7014



JA Biei Information

年始のJA業務時間のご案内

		1月1日(木) ～3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)	7日(水)
金融店舗窓口		休 業		9:00～16:00		
A T M	ホクレンショップ内	休 業	9:30～17:00	9:30～18:00		
	金 融 店 舗	休 業		8:45～17:00		
給 油 所	北 町	休 業	8:00～17:00			8:00～19:00
	大町セルフ	24 時 間 営 業				
上記以外の部門		休 業			仕事始め 8:30～16:00	8:30～17:00

年始休業中の緊急対応

JA業務につきまして、緊急な業務対応は
次の通り実施いたしますのでお知らせします。

項 目	連 絡 先
JA共済事故受付センター	0120-258-931
灯油・プロパンは	92-2157

窓口 総務部 ☎ 92-2111

農業者年金のご案内

老後生活の備えは十分ですか?農業者年金は、国民年金の第1号被
保険者(保険料納付免税者を除く)で、年間60日以上農業に従事する
60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。

※加入される方は、国民年金の付加年金(付加保険料月額 400円)への加
入も必要となります。

詳しくは窓口までお問い合わせください。

窓口 営農部 ☎ 68-7014

■農業者年金のメリット■

少子高齢化時代に強い
積立方式の年金

終身年金で80歳までの
保証付き

公的年金ならではの
税制上の優遇措置

農業の担い手には
手厚い政策支援

免税軽油・農業労災保険の受付

農業機械課では、平成27年度免税軽油申請と、農業労災加入手続きを行いますので、お早めの手続きをお願い致します。

■申請手続き

免軽必要事項

平成27年度の営農計画書に基づく作物別作付面積書

労災必要事項

平成26年度分使用労働者数及び支払賃金、
平成27年度支払予定賃金

持参するもの

・印鑑、標識交付証明書(トラクター等入替増車の方)

期 間:1月13日(火)~1月23日(金)

時 間:午前9時から午後4時まで

場 所:研修センター会議室

※近年、免税軽油の不正利用防止の為、使用者への調査が強化されております。免税軽油使用者証に未記載の機械への使用等、不正使用が発覚した場合は、罰則(免税証の不交付や過去三年に遡り返納等)が生じますのでご注意ください。

※毎年、多くの農作業事故が発生しております。未加入の方はこの機会にぜひ農業労災に加入しましょう。

窓口 研修センター ☎ 92-0588

トラクター向け自動車共済のおすすめ!!

貯金共済課では、左記「免軽・労災」受付会場にて自動車共済のブースを設けさせていただき、トラクター向け自動車共済のご案内をさせていただきます。

共済にご加入されていないトラクターはございませんか?是非、この機会にご加入をおすすめ致します。

詳しくは、折込のチラシをご覧ください。



窓口 金融共済部貯金共済課共済係 ☎ 68-7017

営農研修会は1月29日(木)

今年度の営農研修会は、畑作生産者の方を対象に1月29日(木)に開催します。

詳細は後日、FAXおよび農協からの無線でご案内します。多数のご出席をお願いします。

開催日:平成27年1月29日(木)

場 所:JAびえい3階大ホール

窓口 営農部 ☎ 68-7014

セイカン工業からのお知らせ

新商品登場!

溶接機は欲しいけど高くて買えない…イザ!というときに溶接機がないと困る…そんな方にオススメのこの1台!
持ち運びらくらく。小型・軽量、おどろきの5.2kg!
インバーター方式で安定した出力、デジタル表示で細かい数値設定が可能。より快適な溶接作業がおこなえます。
使用率40%でφ4mm棒がバリバリとける!
期間中ご購入でφ3.2mm棒5kgサービス!
さらに溶接コード10Mずつに
各ホルダーもサービス!



日動

デジタルインバーター

直流溶接機

BM2-160DA
(単相200V)

新年特価

¥60,000 税込み

今、美瑛で人気が出てきている商品です!
充電式でコンパクトなのでいろんな場所で大活躍!
底部には強力な磁石がついているので
機械や倉庫の壁に貼り付け可能!
防雨型なので外でももちろん使えますよ!
研修センターの方たちも愛用しています!
倉庫に1台、機械に1台にと、
この機会に是非ご購入を!



LED投光器

充電式サンダービーム

¥10,584 税込み

ビニールハウスキーパー



ファームランドびえい店で大人気!

全長2,420~4,660mmで高いところもOK!

ヘッドがプラスチック製でさらにゴムがついているのでビニールを傷めません!

備えあれば憂いなし!

人気商品なのでお早めに!

¥5,832 税込み

窓口

FARM LAND びえい店

☎ 92-3455

FAX 92-3488

初春を迎えまして

皆様のご多幸をお祈り申し上げます

(順不同・敬称略)

稲作生産部会
麦作生産部会
豆作生産部会
豆採種生産部会
酪農振興部会
養豚生産部会
乳牛検定組合
酪農ヘルパー利用組合
酪農婦人部
馬鈴薯生産部会
種子馬鈴薯生産組合
北西地区生食加工馬鈴薯団地
大根生産部会
白金アスパラガス生産部会
ニンジン生産部会
百合根生産部会
とまと生産部会
メロン生産部会
長葱生産部会
青年部
女性部
フレッシュミセス会
農業機械協議会
年金友の会
美瑛町報徳社

社会 会長 長 浦谷 規生
会 会長 長 増口 健三
会 会長 長 石川 照実
部 部長 長 喜多 昌智
部 部長 長 舟山 儀代
部 部長 長 安東 博之
部 部長 長 渡部 直巳
部 部長 長 松原 志郎
部 部長 長 佐渡 里志
部 部長 長 北村 敏之
部 部長 長 増山 利文
会 会長 長 井澤 直哉
組合 組合長 田島 佳史
部 部長 長 打田 恵子
部 部長 長 菅野 則子
組合 組合長 服部 裕潤
組合 組合長 餌取 裕之
部 部長 長 嵯峨 智守
部 部長 長 横山 貴宏
部 部長 長 畑中 正人
部 部長 長 松家 盛明
部 部長 長 飯原 勝洋
部 部長 長 櫻井 長谷川
部 部長 長 長谷川 勝洋

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

12月20日現在

発生件数 5件(18件)《19件》
負傷 5人(18人)《18人》
死亡 0人(0人)《1人》

()は26年累計 《 》は昨年同期累計

こよみ

1月の主な行事予定

1日(木)	元旦
5日(月)	金融業務仕事はじめ
6日(火)	一般業務仕事はじめ
12日(月)	成人の日
13日(火)	女性部役員研修(14日)
15日(木)	フレッシュミセス会役員研修会(16日)
19日(月)	JA青年部富良野ブロック 冬期部員研修会
20日(火)	女性部冬期研修会
21日(水)	フレッシュミセス会冬期研修会 とまと生産部会 定期総会

協同の ちから

◇貯金高 239億8千万円 ◇組合員数 正組合員 746人
◇貸付高 73億9千万円 准組合員 1,803人
◇出資金 11億1千万円 (平成26年11月末)
◇固定資産 33億3千万円

編集後記

「力の弱い一人ひとりがとてもできない仕事でも、二人が一人となりてしっくり組合へば案外たやすく成し遂げられる」-この言葉は、農協の前身である産業組合の会頭で、系統誌「家の光」の創刊者である志村源太郎の言葉。協同組合の基本である“相互扶助の心”を表したものだ。農協の基本に対して、いわれない中傷を繰り返すメンバーの一人が、規制改革会議のメンバーに名を連ねている。

農協改革というより「JAつぶし」に等しい。その農協改革が今年、いよいよ正念場を迎える。そして一向に先が見えないTPPの行方も予断を許さない。大義のない衆議院解散は大方の予想通り、政権与党が大勝した。「国益は必ず守る」という言葉を信じたい。言葉の飾りであってはならない。